

Title	ドイツ啓蒙主義研究 第20号 表紙／目次
Author(s)	
Citation	ドイツ啓蒙主義研究. 2023, 20
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/92461
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

ドイツ啓蒙主義研究 20

Forschungen zur deutschen Aufklärung Nr. 20

ドイツ啓蒙主義研究会

2023

ドイツ啓蒙主義研究 20

目 次

ユング＝シュティリングの「熱狂」評価（承前）……………（長谷川 健一）… 1
— 『テオバルトあるいは熱狂者たち』（1784/85）におけるテルステーゲン評価を手がかりに—

はじめに

- 1 ユングから見たテルステーゲン
 - 2 テルステーゲン評価と「熱狂」
 - 3 テルステーゲン批判とその背景
 - 4 テルステーゲン信奉者への批判とその背景
- おわりに

ミルトンから見て取る虚飾的表現と絵画的表現……………（福田 覚）… 21
— 文学論争の再考にむけて(4) —

- 1 論争状態へ
- 2 虚飾を批判するゴットシェートの詩論
- 3 虚飾批判の背景にある合理的なファーベルの理念
- 4 スイス派のミルトン擁護に見られる詩の素材選択の問題
- 5 詩的な自由の擁護と絵画的表現の理念
- 6 詩の本質は絵画なのか
- 7 「真実らしさ」の位置付けの違い
- 8 結論に代えて——「不合理な虚飾的表現」と「自由な絵画的表現」

野生児をめぐる18世紀の緒言説 2 — 動物と人間の顔 — ……………（吉田 耕太郎）… 51

はじめに

- 1 手がかりとしての動物
- 2 動物の感情
- 3 感情というパズル
- 4 感情という空虚